

【開催日時】 令和 2 年 2 月 18 日（火）13：30～14：00

【開催場所】 枝幸町役場 3 階 第 1・2 会議室

【出席者】

有識者委員 12 名（欠席 3 名）

枝 幸 町 村上町長、阿部まちづくり推進課長
まちづくり推進課企画政策 G 札場主査、高橋主事補

1 開会

村上町長より挨拶

2 議事：奥出会長により進行

(1) 第 2 期枝幸町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

説明資料：枝幸町ふるさと創生総合戦略（最終案）

今回の最終案では、前回まで調整中となっていた項目や、これまでの意見を反映した部分を説明し、文言の修正については、説明を省略する。

●P3

(1) 本町の総人口の現状、上から 3 行目の国立社会保障・人口問題研究所の推計値について、平成 27 年の国勢調査を基準にした、新たな推計値が示されているため、それらを反映した数値とグラフに変更している。

●P5

(3) 人口の将来展望について、前回示していた、人口ビジョンの方向性を反映させた内容への変更に加え、目標の数値や下段の「人口の将来展望」のグラフについても整理し変更している。

●P6

2. 基本目標の数値目標について、下段にある基本目標 1 の数値目標は、①出生数毎年 50 人、②転入者 15～49 歳の層で、2018 年度実績の 216 人から 20%増の 259 人、③転出者 15～49 歳の層は、2018 年度実績の 195 人から 20%減の 156 人を数値目標に設定している。

●P7

上段、基本目標 2 の数値目標について、①関係人口数は、ふるさと納税 3 回以上のリピーター数 2,500 人、地域の学び者数については現在の総合戦略の具体的な施策としている「歴史と文化による交流促進」での平成 31 年 3 月末人数 1,781 人、ふるさと教育については令和 2 年度以降に取り組みを始めるため、基準値としては 0 人となり、合計 4,281 人を 2018 年の基準人数として、基準値から約 2.3 倍で切れの良い

10,000人を目標とし、②外国人居住者数は、2019年10月の居住者数158人から50%増の237人を目標とする。

下段、基本目標3の数値目標は、①漁獲金額として毎年120億円、②生乳生産量については、生乳生産だけではなく農業全体としての生産額に変更した方が良いという意見を踏まえ、農業生産額毎年65億円、2018年度実績についても65億円に修正し、③製造品出荷額として、2016年統計数値187億円から10%増の205億円を数値目標に設定している。

●P12

中段のKPIの表にある「保育資格者修学資金貸付・就業時一時貸付事業を通じた就業者数」の目標値について、前回までは6人としていたが、再精査の結果2人に変更している。

●P14

上段のKPIの表の2番目にある「特定公共賃貸住宅の戸数」の目標値を、前回までの案では42戸から43戸の1戸増を目標にしていたが、再度検討した結果、4戸増の46戸に目標を変更している。

また、令和2年度から予定している北栄団地整備事業（2工区）のうち、1棟4戸を特定公共賃貸住宅として整備することから、下段の具体的な施策の「安心して働き・暮らせる住まい・空間の確保」の内容表現を「特定公共賃貸住宅への転用」から「特定公共賃貸住宅の整備拡充」に上方修正している。

●P23

下段、林業の成長産業化にある新規事業の項目について、事業名の修正と前回まで検討事業としていた「町民を対象とした参加型の事業創設」を新規事業の一番下「森林資源等活用推進事業」として変更している。

●P26

(3) 中小企業等の活性化と企業誘致について、①本文最初の行に、事業継承の文言を追加している。これは、本有識者会議の中でも新規創業の促進だけではなく、事業継承者への支援についての提言をいただいていたため、今回文言を追加し、今後、総合戦略期間中において検討していく。

●P27

中段のKPIの表について、本年度、一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを行い、最終の目標値が確定したことを受け、ごみの排出量の目標値を、前回まで2,135tとしていたが、2,325tへ変更。また、リサイクル率も同様に、前回まで35%としていたが、27.6%へ変更している。

●P28～33

本総合戦略の施策に関連する「持続可能な開発目標（SDGs）」が目指すゴールと関連付けした項目を示し、今後、総合戦略を着実に進めていくことで、SDGsの実現に貢献することを位置づけている。

【委員からの意見等】

◆澤田委員（歌登まちづくり協議会長）

公共交通について、今後どのようになるのか教えていただきたい。

◇事務局

路線バスについては、バス事業者から、運転手不足やこれまで受けていた補助金が対象外になり、利用者が少ない路線を減便するという提案を受けて4月から一部減便・見直しすることから、影響の大きい地区の自治会長に対して説明を行った。

また、今後4月の減便の影響を受けて出てくる課題に対応できる持続可能な交通体系を検討していく。

例えば、枝幸南地区の内陸部からの接続に対応するためにどのような交通体系が望ましいのかなど、現段階では具体的には提案できないが、4月から早急に検討していく。

◆小笠原委員（にじをつなぐ会代表）

定住対策について、例えば、公園施設の今後のあり方などは、これからの総合戦略期間中においてさらに具体化していくのか。また、具体化した内容については有識者会議の中で議論をしていくのか。

◇事務局

素案の段階でも説明したとおり、検討事業については、現段階では結論を出せないものでも、総合戦略期間中に利害関係などを整理したうえで検討していく。

具体的な内容については、検討した段階で有識者会議の中でも提案させていただく。

(2) 第2期枝幸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の答申について

奥出会長より村上町長へ答申書を手交。

(3) その他

今後のスケジュールとして、本日、有識者会議での答申を受けて、3月議会終了後に開催予定の「まちづくり等調査特別委員会」において議会に対して説明を行った上で、策定・公表する予定である。

3 閉会

14時に閉会。